

令和元年度

第57回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 令和元年12月14日(土)

13:30～14:30

式場 石川県教員総合研修センター大研修室

式次第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
研究機関助成
- 4 賞状授与及び奨励金交付
研究奨励
- 5 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 田 中 新太郎
- 7 受賞者代表謝辞
- 8 閉式のことば

主催 石川県科学教育振興会

共催 石川県教育委員会

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立押野小学校 教諭 岩崎 誠

金沢市立栗崎小学校を初任に、同弥生小学校、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校、金沢市立安原小学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の受賞や、全国小学校理科教育研究会石川大会実行委員会編集委員としての著書がある。指導面では、理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたるとともに、金沢市児童科学教室指導員、金沢市少年少女発明クラブ講師、子ども科学スタジオ講師等を務めた。また、「理科の学習」編集委員、金沢市教職員研修「理科実技」講師、金沢市小学校教育研究会運営委員代表等を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

金沢市立高尾台中学校 教諭 杉野 雅英

金沢市立高尾台中学校を初任に、同長田中学校、同清泉中学校、内灘町立内灘中学校、金沢市立森本中学校、津幡町立津幡南中学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の受賞や、全国中学校理科教育研究会等での発表がある。指導面では、理科担当教員として、科学作品コンクールの出品啓発と指導にあたるとともに、科学部顧問として、河北潟の水質調査の継続研究等の指導にあたった。また、金沢市中学校文化連盟理科部専門委員長を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立金沢伏見高等学校 教諭 田淵 憲志

松任市立北星中学校を初任に、同松任中学校、石川県立津幡高等学校、同金沢北陵高等学校、同小松明峰高等学校、同金沢辰巳丘高等学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の受賞や、「脳波の観測」をテーマに北信越理科教育研究大会等での発表実績がある。指導面では、理科担当教員として、中学校サイエンスフェアでの指導にあたった。また、石川県科学教育振興会幹事、石川県高等学校教科研究会理化部会理事、同物理研究代表者、同物理実験書検討委員長等を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

2 功労者表彰

金沢市立富樫小学校 教頭 輪田 靖欣

輪島市立河井小学校舳倉島分校を初任に、金沢市立木曳野小学校、同浅野町小学校、同十一屋小学校、同緑小学校、同扇台小学校、同キゴ山天体観測センター、同緑小学校主幹教諭、同教頭、同森本小学校教頭を経て現在に至る。指導面では、金沢市児童科学教室や金沢市キゴ山宇宙塾で指導員として、児童への指導にあたった。日本宇宙少年団金沢支部北コロンビア分団ではリーダー等を務めた。また、日本宇宙少年団金沢支部事務局、宇宙航空研究開発機構（JAXA）と宇宙教育に関する協定締結担当等を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

石川県立金沢二水高等学校 副校長 梅本 浩照

石川県立寺井高等学校を初任に、同金沢二水高等学校、石川県教育センター研修課指導主事、石川県教育委員会事務局学校指導課指導主事、同主任指導主事、同課長補佐、石川県立金沢錦丘高等学校教頭を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励の受賞や、「眼球モデルの作成」をテーマにした日本生物教育学会全国大会等での発表や、石川県教育センター紀要「石川の自然」での執筆がある。また、石川県高等学校教科研究会生物部会事務局、同理事、同副会長を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

3 学校表彰

金沢市立泉小学校

(校長 石田 浩二)

当校は、統合した金沢市立弥生小学校と金沢市立野町小学校からの伝統をそれぞれ引き継ぎ、夏季休業中の科学研究相談会やおもしろ科学実験教室等の取り組みや、金沢市子ども科学財団が主催する児童科学教室の会場校として、児童の科学する心を育む拠点となってきた。その結果として、石川県児童・生徒科学作品コンクールでは、毎年70点以上の応募があり、県教育委員会賞（H25）、優秀賞（H26、H27）の受賞等、数多くの受賞者を輩出するなど、科学研究に熱心に取り組む児童が多い。また、全国児童才能開発コンテストにおいて財団科学賞（H25）の受賞や全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会石川大会の会場校として全クラスで授業の公開を行った。学校の敷地内にビオトープを設置し、水生昆虫やメダカを飼育するなど、児童がいつでも自然に親しみ生き物を観察できるよう環境づくりにも配慮している。

金沢市立紫錦台中学校

(校長 山田 辰也)

当校は、ユネスコスクールの認定を受け、伝統文化や国際理解、環境を主要テーマとして、活動を進めてきた。持続可能な発展のための教育（ESD）の実践に取り組み、学習や諸活動に生き生きと取り組む生徒の育成に努めている。また、生徒の科学研究を推奨し、夏季休業中には、自由研究のために理科室を開放し、相談日を設けるとともに、実験器具等の貸し出しを行っている。その結果として、石川県児童・生徒科学作品コンクールでは数多くの受賞者を輩出しており、県教育委員会賞（H22）、県科学教育振興会長賞（H30）等を受賞している。また、金沢市教育委員会「学校ベーシックカリキュラム実践推進事業」の指定を受け、理科の授業について公開研究発表会を行い、成果が認められている。

石川県立金沢二水高等学校

(校長 江尻 祐子)

当校は、創設以来、「自由・闊達・明朗・真摯・清新」の校風を培い、豊かな感性と教養、品格を備えた卒業生を輩出し、政財界や学問・芸術分野など国内外の各界で活躍している。平成24年にニュースーパーハイスクールに指定されたこととともない、自然科学コースを設立し、2年次の総合的な学習の時間において、リアルサイエンスとして探究活動を積極的に推進した。実験を通して知識や理論に実感を持たせ、基礎科学の理解から専門知識の獲得までを目標とする中、SSH合同発表会での成果発表、外部講師の招聘、大学や研究機関との連携により、最先端の研究に触れている。また、「いしかわ高校科学グランプリ」では理数科の設置がない学校として初の総合優勝（H29）を果たすなど、多くの科学探究活動で成果を上げている。

4 学校助成

能美市立栗生小学校

(校長 木下 正俊)

能美市立寺井中学校

(校長 西田 誠一)

石川県立寺井高等学校

(校長 西野 正洋)

令和2年度に能美市で開催する、第57回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

5 研究機関助成

石川県教員総合研修センター

(所長 藤井 直樹)

科学教育の充実に向け、科学教育担当教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励（※は研究代表者）

〔奨励賞〕

時間的・空間的な見方を高める指導法に関する研究

～小・中学校の天体に関する分野を例として

金沢市立十一屋小学校教諭 小松 武史* 野々市市立館野小学校教諭 福嶋 康晴

小学校理科におけるプログラミング教育の実践

～6年「電気の利用」を通して～

野々市市立館野小学校教諭 福嶋 康晴* 金沢市立十一屋小学校教諭 小松 武史

子どもが創る理科 ～関わり合い、追究する子を目指して～

金沢市立夕日寺小学校教諭 本横山佐穂里* 金沢市立三馬小学校教諭 山岸 留美
金沢市立夕日寺小学校教諭 別宗 美幸 金沢市立栗崎小学校教諭 服部 綾子
金沢市立夕日寺小学校教諭 河合 真衣 金沢市立泉小学校教諭 西村 優紀

授業の印象度と定期試験正答率の関係性

～定期試験とアンケートから見るシンプルな考察～

かほく市立高松中学校教諭 中川 絢太

プログラミング教育の授業を探る

加賀市立片山津中学校教諭 勝木 一弘* 加賀市立錦城小学校教諭 梶 純平
加賀市立橋立小学校教諭 川原 駿 加賀市立片山津小学校教諭 津田 遼真
加賀市立分校小学校教諭 吉光 雄志 加賀市立作見小学校教諭 坪原 綾香
加賀市立山代小学校教諭 田守 彬人 加賀市立山代小学校教諭 水野 陽平
加賀市立勅使小学校教諭 中田 勝博 加賀市立山代中学校教諭 大和 弘明

「合同『学び合い』によるカリキュラムマネジメント」

金沢市立高尾台中学校教諭 前田 一樹* 金沢市立高尾台中学校教諭 小池 洋司

金ナノ粒子を題材とした探究型授業の実践研究

石川県立工業高等学校教諭 長田 英史

高等学校ロボット競技大会に出場するロボットの製作を通じた機械要素の研究

石川県立小松工業高等学校教諭 宮前 信彌